

海・みどり・ひと がはぐくむ 活力あるまち

 匝瑳市
市勢要覧 2016

- 発行 平成28年3月
千葉県匝瑳市
- 編集 秘書課
匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎0479-73-0080
<http://www.city.sosa.lg.jp/>
- 制作 ㈱秀英社

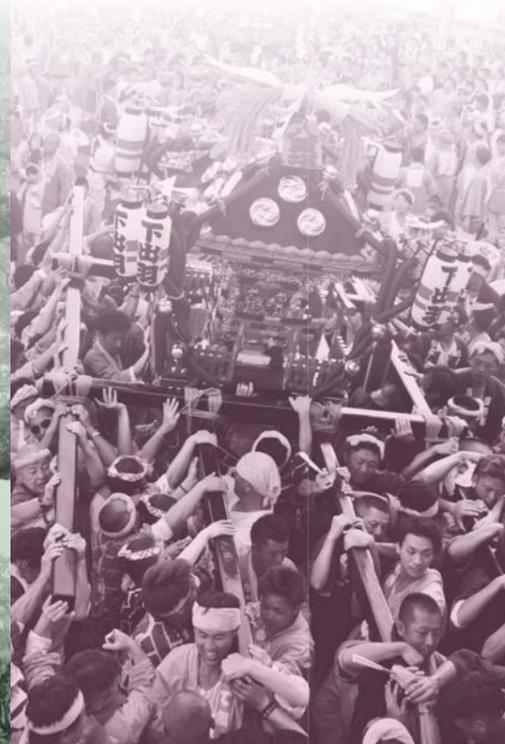
匝瑳市



市勢要覧

2016

10th
anniversary





CONTENTS

目次



- 01 発刊にあたって
- 02 匝瑳市誕生から 10 年の歩み
- 04 匝瑳市市民憲章 匝瑳の由来・語源
- 06 **海・みどり・ひと がはぐくむ
活力あるまち 匝瑳市**
5つの基本目標
 - 生きがいに満ち、笑顔があふれるまちをつくる
 - 活気に満ち、はつらつとしたまちをつくる
 - 自然と共生し、快適で安全なまちをつくる
 - 個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる
 - 市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくる
- 18 日本有数の植木のまち
- 20 暮らしを包み込む緑
- 22 **八重垣神社 祇園祭**
- 23 伝統行事・市民まつり
- 26 日蓮宗最古、最大、最高の学問所
飯高檀林跡
- 29 国指定重要無形民俗文化財
木積の藤箕製作技術
- 30 匝瑳の海
- 32 匝瑳の産業
- 34 ふれあいパーク八日市場
- 36 国保匝瑳市民病院
- 38 匝瑳市の施設
- 40 匝瑳歳時記 ～季節の行事～
- 41 匝瑳市資料編

発刊にあたって

平成 18 年 1 月 23 日に誕生した匝瑳市は、このたび市制施行 10 周年を迎えることができました。

千葉県の北東部に位置する本市は、東京から 70km 圏にあり、成田国際空港に近接しています。市域北部に広がる丘陵は、里山の自然が数多く残され、また、中央部の東西にかけては市街地、南部には田園地帯が形成され、その端は九十九里海岸に面しています。

豊かな自然の恵みの中で、縄文時代の遺跡や丸木舟が数多く出土しているほか、天正年間には日蓮宗僧侶の学問所として「飯高檀林」が開かれるなど、海とみどりの自然が織りなす、歴史と文化の薫り高いまちとして発展してまいりました。

市町村合併から 10 年。地域の絆と結束力を糧に、次の 10 年、さらにはその先の未来に向けて、一人ひとりがいきいきと暮らせる活力あるふるさとづくりを市民の皆様とともに進めてまいります。

市制施行 10 周年を記念して発行しましたこの市勢要覧を通じて、多くの皆様に匝瑳市の姿をご理解いただく一助となれば幸いです。

平成 28 年 3 月

匝瑳市長 太田 安規 Yasunori Ota
Mayor of Sosa City

Message from Mayor of Sosa City

Sosa City born on January 23, 2006 was able to greet 10th anniversary for the municipal organization enforcement.

Sosa City located in the northeastern part of Chiba Prefecture is in the 70 km away from Tokyo and approaches Narita International Airport. There is a lot of nature in the hillside of the north area and the urban district from east to west in the central part of Sosa City and the rural area in the south. The edge of Sosa City faces the Kujukuri Beach.

In rich blessings of nature a lot of remains and dugouts of the Jomon period have been excavated. And during the Tensho era, "Iidaka Danrin", the school for priests of the Nichiren sect of Buddhism, was opened. Therefore Sosa City is developing as a highly valued city of history and culture with a beautiful sea and green nature.

10 years have passed since the municipalities merged. I will push forward the making of vigorous hometown that there is that each one live for lively with citizen's with a local bond and unity power for the future of there for next 10 years.

In celebration of Sosa City's 10th anniversary, I hope that many people understand and appreciate everything that Sosa City has to offer.





平成18年1月23日に匝瑳市が誕生してから10年の節目を迎えました。
ここでは、この10年の歴史を写真とともに振り返ります。

匝瑳市誕生から10年の歩み

匝瑳市合併記念式典



- 1月23日 匝瑳市誕生
- 初代匝瑳市長に江波戸辰夫氏就任
- 共興小学校 新校舎が完成
- 合併記念式典を挙行、市章を発表
- 市の花・木・鳥に、チューリップ・イヌマキ・ウグイスを決定
- 地井武男さんが匝瑳市観光大使に就任

- 第2回全国学校給食甲子園で野栄学校給食センターが優勝
- JR八日市場駅自由通路が開通
- 「つどいの広場」が野栄福祉センター内にオープン
- ご当地ヒーロー「ハリキリ戦隊ソーサマン」誕生



- 「匝瑳市総合計画」策定
- 八日市場小学校米倉分校・八日市場幼稚園米倉分園が閉校
- 「こにちは赤ちゃん事業」スタート
- JR八日市場駅南口広場 供用開始
- 野手浜総合グラウンドが完成



- 木積の藤箕製作技術が国重要無形民俗文化財に指定
- 市民憲章を制定、銘板設置
- 千葉国体リハーサル大会を開催
- 2か所目のつどいの広場「たんぼぼ」が旧米倉分校にオープン
- 「のさか図書館」が野栄総合支所内に開館



- 地井武男さんが第1号の市民栄誉賞に
- 太田安規市長が就任
- 飯高小学校、飯高保育所が閉校・閉所
- 八日市場野栄線バイパスが開通
- 豊栄小学校 新屋内運動場が完成
- 千葉国体弓道競技開催 秋篠宮ご夫妻ご来訪

- 東日本大震災発生 本市で震度5弱を観測し津波被害も
- 婚活支援事業をスタート
- 市内全域で光ブロードバンド利用可能に
- 匝瑳アロハ、ポロシャツが完成
- 八日市場小学校 新屋内運動場が完成
- ご当地銘菓「そうさまん」誕生



- 須賀小学校 新屋内運動場が完成
- ふれあいパーク八日市場 開館10周年
- 第3子以降の保育料無料化を実施
- 難読地名が緑 兵庫県宍粟市と交流開始
- 地井武男さん逝去 「地井武男さんを偲ぶ会」開催
- 新生匝瑳戦略会議から「匝瑳市再生への提案書」提出



- 豊栄小学校 新校舎が完成
- 幼稚園保育料第3子以降を無料化に
- 赤ピーマンで作った調味料「オラホde赤ピーマン」シリーズ完成
- 野栄中学校 新校舎が完成
- 地井武男ふれあい記念館「ちいちい茶屋」期間限定オープン
- 台風26号により土砂崩れなどの被害発生

- 椿海小学校 新屋内運動場が完成
- 「匝瑳市消費生活センター」スタート
- 八日市場第二中学校 新屋内運動場が完成
- 匝瑳市学校給食センターが完成
- 兵庫県宍粟市と災害時相互応援協定を締結
- 野栄中学校が開校50周年、匝瑳高校が開校90周年を迎える



- 共興小学校 津波対応型の新屋内運動場が完成
- 「ふれあい農園のさか」オープン
- 県立飯高特別支援学校が開校
- 「マザーズホーム」が八日市場小学校旧米倉分校施設に移転
- 津波避難タワーが完成



2006
平成18年

2007
平成19年

2008
平成20年

2009
平成21年

2010
平成22年

2011
平成23年

2012
平成24年

2013
平成25年

2014
平成26年

2015
平成27年

2016
平成28年



匝瑳市市民憲章

豊かな自然と文化にめぐまれた匝瑳市の発展と市民の幸せを願い、市民憲章をさだめます。

- 1 笑顔とあいさつの輪が広がるまち、匝瑳
- 1 美しい自然を大切にするまち、匝瑳
- 1 奉仕の心と思いやりのあるまち、匝瑳
- 1 教養と文化を高め、伝統を守るまち、匝瑳
- 1 元気で働き、活気に満ちたまち、匝瑳

(平成21年4月1日制定)

匝瑳の由来・語源

匝瑳という地名は、現存のものでは、奈良東大寺正倉院に伝わる庸調(朝廷に納めた特産物)に見られる天平13(741)年の記録が最も古いとされています。

匝瑳という地名の由来は、平安時代前期の歴史書「続日本後紀」によれば、5世紀の終わり頃から6世紀のはじめにかけて、畿内(現在の近畿地方)の豪族であった物部小事(ものべのおごと)という人物が、坂東(現在の関東地方)を征した勲功によって、朝廷から下総国の一部を与えられ、匝瑳郡とし、小事の子孫が物部匝瑳氏を名乗ったと伝えられています。

匝瑳の語源については、諸説あって定まっていますが、発音での「さふさ」という地名があり、「さ」は「狭」で美しい、「ふさ」は「布佐」で麻の意で、「美しい麻のとれる土地」であったとする説や、「さ」は接頭語で、「ふさ」は下総国11郡中で最大の郡であったことに由来するという説があります。匝瑳は、「さふさ」に縁起のよい漢字を充てたものと考えられています。

漢和辞典によれば、漢字の「匝」は、訓読みで「匝る」と読み、一巡りして帰るという意味があり、「瑳」は、訓読みで「瑳やか」あるいは「瑳く」と読み、あざやかで美しいという意味があります。

市章



海の波と緑の葉を表すデザインで匝瑳市の「匝」の字と、いきいきした匝瑳市民を表し、匝瑳市がシンボライズされています。橙色は「活力」、緑色は「成長」、青色は「未来」を表しています。

(平成18年5月14日制定)

市の花



チューリップ

市の木



イヌマキ

市の鳥



ウグイス

(平成18年10月31日指定)

海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市

匝瑳市は、「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち」を市の将来都市像と定め、その実現に向けて歩みを進めています。

すべての市民が生きがいを感じ、笑顔があふれ、活力あるまちをつくるため、健康・医療・福祉をはじめ、産業・都市基盤・防災や教育・文化の各分野を連携させながら、施策、事業に取り組んでいます。

地域が一体となって高齢者や障がい者を見守り、安心して子育てができる「住んでよかった」と思えるまちづくりをこれからも進めていきます。

Sosa City decided to set its future vision as “The vigorous city with beautiful sea and lots of nature, where people can enjoy their lives”. In order to all the Sosa citizens find their purpose for living with smiles and make the vigorous city, we, as the municipal government administration, are proceeding many projects and measurements in cooperate with the various fields on health and medical care, welfare, disaster prevention, education and Japanese culture and also different kinds of industries and foundations.

We keep working to unite the citizens in Sosa City to watch over the senior and the disabled people. At the same time we will make this area as the place where people can feel that it is a very safe town to bring up children.

5つの基本目標

- 基本目標 1 生きがい満ち、笑顔あふれるまちをつくる
- 基本目標 2 活気に満ち、はつらつとしたまちをつくる
- 基本目標 3 自然と共生し、快適で安全なまちをつくる
- 基本目標 4 個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる
- 基本目標 5 市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくる



1

— 健康・福祉・医療 — 生きがいに満ち 笑顔があふれるまち



すべての市民が生きがいに満ち、笑顔があふれるまちをつくるために、健康・医療・福祉をはじめ各分野が連携しながら、地域全体で一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援がなされる環境づくりに努め、生涯の各段階すべてにおいて健康や生きがいを感じ、安心して暮らすことのできるまちづくりを推進します。

また、温暖な気候や豊かな自然、充実した拠点施設、元気な高齢者や団塊の世代などの人材、地域の連帯感など、本市の強みである地域資源を十分活用し、育みながら、あたたかなふれあいと交流の中で高齢者や障がい者などを見守り、地域で子どもを育てるまちづくりを進めます。



1. **ふれあいデイサービス** 要介護状態への移行を未然に防ぎ、高齢者の自立支援を図るため、一人ひとりのニーズや状態に合わせた介護予防や介護サービスの提供を実施します。
2. **シルバー人材センター** 高齢者が、長年培ってきた知識や技術、経験を生かすことのできる場の充実を図ります。
3. **つどいの広場** 子育ての相談や親子でのふれあいによる子育て支援環境の充実に取り組みます。
4. **放課後児童クラブ** 放課後の子どもの居場所確保のため、放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実を図ります。
5. **料理教室** 生活習慣病の予防を図るため、食生活改善に向けた取り組みを推進します。
6. **匠瑤市民病院** 地域の中核病院である匠瑤市民病院の医療従事者の確保、施設や整備の充実と質の向上を図ります。
7. **就労支援事業所ほほえみ園** 障がいの状況や能力、意欲に応じ、雇用・就労に向けた支援などの充実を図ります。

1	2
3	4 5
6	7

2

— 産業・経済 — 活気に満ち はつらつとしたまち



活気に満ち、はつらつとしたまちづくりを進めるために、各種産業の生産・経営基盤の強化支援を図ります。

また、農林水産業と商工業、観光業の連携を促進しながら、それぞれの産業が地域間競争に勝ち抜く個性ある地域産業として育成・発展していくための支援の充実に努めるとともに、首都圏や海外への好アクセス条件を生かした企業誘致などを推進します。

さらに、魅力ある雇用・消費の場の創出と働きやすい職場環境に努めることで労働力の確保と消費活動の活性化につなげるなど、若者や女性、高齢者をはじめすべての市民が、いきいきと労働や生産活動などに参加し続けることのできるまちづくりを進めます。

1. **東京駅前にある匝瑳市の植木** 日本有数の植木のまちをさまざまな機会や媒体を通じてPRし、「植木のまち匝瑳」のイメージ普及に努めます。
2. **商業軸の形成** 国道126号沿線に良好な商業軸の形成を促進します。また、市内外から集客可能な特徴ある利便性の高い商店街の形成の促進と活性化を進めます。
3. **ほ場整備** 生産性の向上および安定した経営基盤の確立に向け、生産基盤の整備に取り組みます。
4. **ブランド米「匝瑳の舞」** 付加価値の高い農産物の生産と販路の開拓を図るため、ブランド化を推進します。
5. **そうさ歳末ジャンボ宝くじ抽選会** 商店街のにぎわい創出を図るため、商工会が行う各種事業に対し、助成を行います。
6. **八重垣神社祇園祭** 伝統行事や文化財を活用した観光振興を推進します。
7. **市民農園** 市民農園を拠点とした「遊び・学び・育て・癒し」の創出や交流づくりなど、新たな活用を図り、利用を促進します。

1	2	
3	4	5
6		7

3

— 生活環境・都市建設 — 自然と共生し 快適で安全なまち



本市の誇りである九十九里海岸や里山などのかけがえのない自然と共生し、かつ快適で安全なまちをつくるために、ごみ処理や生活排水のための基盤整備を継続的に推進するとともに、市民一人ひとりがリサイクルや不法投棄の防止などに積極的に取り組むための意識の醸成および市民活動支援の充実を図ります。

また、中心市街地の活性化や公共交通機関の充実といった都市機能の強化および都市基盤を計画的に整備することで、誰もが快適で暮らしやすく利便性の高い環境づくりを推進するとともに、災害や交通事故、犯罪などから市民の生命と財産、子どもの安全を守るため、関係機関の連携強化および情報共有の促進、自主活動組織の活性化を図るなど、地域ぐるみで取り組むまちづくりを推進します。



1. **幹線道路の整備** 都市計画道路や市道など、拠点間や地域間を連絡する道路の効率的な整備を図ります。
2. **市内循環バス** 運転免許証を持たない学生や高齢者などの日常生活の交通手段として、利便性の向上に努めます。
3. **ゴミゼロ運動** 自然を大切にし、きれいな環境を保全するため環境美化活動の活性化を図ります。
4. **津波避難タワー** 地域防災計画に基づき、津波災害対策の強化に取り組みます。
5. **地域での防災訓練** 自主防災組織と地域のさまざまな団体との連携を強化し、市民の防災意識の高揚を図ります。
6. **防犯パトロール** 関係機関などと連携しながら、防犯活動の活性化および防犯設備の整備・維持管理を促進します。
7. **ハマヒルガオ** 海岸砂丘植物などの貴重な自然を保護するための対策を推進します。

1	2	
3	4	5
6	7	

4

— 教育・交流 —
個性豊かに学び
人々が輝くまち



個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくるために、学校・地域・家庭がそれぞれの役割の中で連携し合いながら、さまざまな交流や体験を通して子どもたちの個性を育む教育環境づくりに努めるとともに、本市が持つ豊かな自然環境や活動拠点施設、経験豊かな地域の人材などを十分活用しながら、生涯を通じて学習する意欲の向上と機会の提供を図ります。

また、地域の歴史や伝統的文化の継承および新たな文化の創造に向けた市民活動を積極的に支援し、世代間の交流促進と地域の個性を育む取り組みを促進するとともに、市民一人ひとりが年齢や性別などにかかわらず、お互いの個性と人権を尊重し、理解し合って、その人の能力や意欲が十分発揮される環境づくりを進めます。



1. **中学生社会体験** 市内事業所の協力を得ながら、社会体験機会の充実を図り、中学生のキャリア教育を推進します。
2. **中学校体育祭** 体育活動や読書活動、さまざまな体験などを通じて、児童生徒の健康の保持・増進と豊かな心の育成を図ります。
3. **公民館講座** 市民の学習ニーズを把握しながら公民館の各種講座などの充実にも努め、幅広い市民が参加しやすい講座などの開催に努めます。
4. **グラウンドゴルフ** 「市民一人1スポーツ」を目指し、誰でも気軽に参加できる生涯スポーツの促進を図ります。
5. **フロンティア学寮** 通学合宿事業の拡充を図り、活動への参加を呼びかけ、子どもたちの健全育成を図ります。
6. **国際交流協会日本語教室** 国際交流団体の活動の活性化を図るとともに、各種団体が行う交流活動を支援します。
7. **松山神社神楽** 伝統文化の継承・保存活動に対する支援を行い、活動の活性化を図るとともに、後継者の育成を図ります。

1	2
3	4 5
6	7

5

— 住民協働・行財政 — 市民と行政が協働し 市民が主役のまち



市民が主役となるまちづくりを推進していくために、市民と行政がさまざまな媒体や機会を通じて情報を共有し、まちづくりの問題意識と方向性を共有しながら、市民と行政が一体となり共に考え、共に行動する体制づくりを推進するとともに、ボランティア活動の促進や地域活動団体への支援の充実など、市民一人ひとりが地域活動に積極的に参加できるまちづくりを推進します。

また、市の財政状況に応じた効果的かつ効率的な行財政運営を進めることにより、健全なまちづくりの推進と市民サービスの向上を図ります。



1. まちづくりご意見箱 市長への手紙やまちづくりご意見箱、メールなどによる問い合わせに対して、情報の提供に努めます。
2. 匠瑳市議会 開かれた議会活動の推進と議員活動の活性化を図るため、議会内容を広く市民に伝え、積極的な情報提供に努めます。
3. 市民協働の推進 公募などによる市民参加やパブリックコメントの実施などにより、計画段階からの市民参画を推進します。
4. 「広報そうさ」での財政状況の公表 財政状況を広報紙や市ホームページなどに掲載し、市民との情報共有および財政運営の透明性の確保を図ります。
5. 市ホームページ 審議会の結果など、政策決定過程を市ホームページ上で公表します。また、行政情報についての提供も行います。
6. まちづくり座談会 市民と行政が、まちづくりについての意見交換をすることができる場を充実します。
7. 市民サービスの向上 市民ニーズや特定の行政課題に柔軟に対応できる運営体制を構築するなど、効率的で質の高いサービスの提供に努めます。

1	2	
3	4	5
6		7

日本有数の植木のまち

匠瑛市の植木生産は、明治時代に始まったとされ、大正時代になり職業として本格化しました。当時の生産農家はわずか5、6戸で、小ぶりの観賞用樹木を細々と供給しているに過ぎませんでしたが、大正12年に大阪府池田の植木買い付け業者・阪上玄之助(さかがみのすけ)が病虫害や寒さに強い八日市場のイヌマキに目を付け、これを関西方面に出荷したことがきっかけで、植木生産が広まりました。

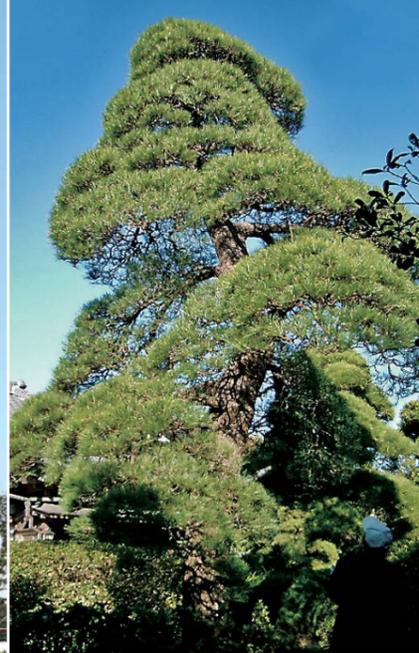
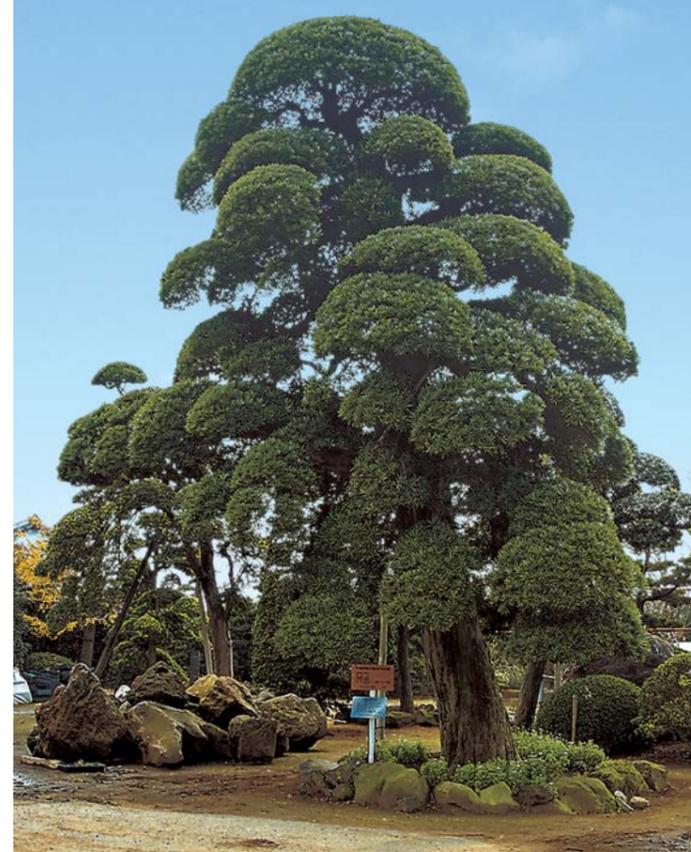
現在では、「日本有数の植木のまち」と知られ、植木の生産量、樹種も全国屈指。近年は中国やヨーロッパなどを中心に、輸出も拡大しています。植木輸出高日本一の千葉県にあって、伝統的な植木技術を残すため県が認定する「植木伝統樹芸士」「植木銘木100選」の大半に本市の職人や植木が選ばれていることから、「匠瑛の植木」は世界に誇れるブランドとも言えます。

1	2	3
		4
5	5	

「千葉県植木銘木100選」に認定された銘木

1.イヌマキ 2.クロマツ 3.ゴヨウマツ 4.キャラ

5. 植木まつり 新緑輝く5月の連休に、植木職人自慢の逸品や彩り鮮やかな植木・花々の展示即売会、植木の出来栄を競う共進会が開催されます。



Our city is one of the leaders in garden trees and arboriculture in Japan.



It's been said that it was started in the Meiji period and there was only 5-6 craftsmen who were making small ornamental plants. In 1923 when the era was towards the end of Taisho period an Osaka tradesman found the INUMAKI from Sosa tolerant of cold, pests and diseases. He then shipped this tree to the Kansai area and that is how the industry has started to grow. Nowadays we are one of the top producers within Japan in terms of production volume and variety of species.

Our arborists are also certified by the prefecture as Traditional UEKI craftsmen and chosen for 100 Old trees of historical interest. In recent years we have expanded the trades in exporting to Asia, and Europe and become a brand to be proud of in the world.

▼中国やヨーロッパに向けた植木のコンテナ積み込み作業



「常に勉強」
植木を世界に広げるパイオニア

家業の植木業を継いで、僕で4代目になります。ここは産地ですから、身近な職業として自然と植木屋になるのを選んだ感じですね。18歳で仕事に就いて24歳のときに今の会社の経営を父から譲り受けました。

その頃は、不景気や住宅様式の変化などで植木業界が厳しかったときに、チャンスと思いついて海外向け取引を本格的に始めました。植木の販路として海外に目を向けている人が他にいなかったもので、ノウハウもなく、その都度、国ごとに異なる検疫や規制を調査するなどして大変でしたね。今では、ヨーロッパ諸国や中国を中心に、台湾、ベトナムなどの国・地域に輸出しています。それぞれ習慣や文化、気候も違うので、常に勉強です。海外輸出が目立ってきていますけど、本当は、国内で良質の植木が消費されると良いですね。

これからの植木業は、生産者、職人さんの確保が大切ではないでしょうか。技術を継承して、いかに良いものを作っていくか。僕個人ではなく地域全体の課題として、後継者の育成が必要だと思えますね。

Special interview



有限会社共種園 代表取締役 江波戸 光一さん(東小笹)

暮らしを包み込む緑

Living in a green environment



匝瑳市にあふれる緑は植木だけではありません。巨樹・巨木の多さも全国トップクラスで、そのほとんどが寺社や民家など山林ではなく身近に存在しており、市内の広範囲に存在することが特徴です。また、巨樹・巨木に限らず、歴史ある木々や生活に密接に関わってきた里山など、緑は古くから私たちの暮らしを温かく見守ってきました。

We are blessed with many old and venerable trees that have grown naturally throughout the city. The trees coexist with and are intermingled into the daily lives of the city.



- 1. 安久山の大シイの木** 幹周り10m、樹高25mと、全国でも有数のシイの木ですが、必見すべきはその根。板根状の根回りは今にも歩き出しそうなほど曲がりくねり、自然の持つ力強さがひしひしと伝わってきます。古民家を包み込むように大きく広がる枝ぶりと合わせて、見る者を圧倒します。
- 2. 黄門桜** 黄門様お手植えと伝わるヤマザクラ。毎年4月中旬ごろに満開になり、市内外から観光客が訪れます。幹周り5.5m、樹高約7m、葉張り約16m。
- 3. 龍頭寺の大フジ** 樹齢100年を超えるといわれる木積地区・龍頭寺のフジ。枝から地面に垂れ下がる花房は1~1.5mにもなります。また、同地区には300本余りのフジが咲き誇ります。
- 4. 里山** 市域北部に広がる里山では、春には田植えが行われ、夏になると田畑の緑がまぶしく輝きます。木々の深い緑と木陰が懐かしい日本の風景を思い起こさせてくれます。

楽しいからこそ続けられる

この周りの里山で見られる新緑は、常緑樹と落葉樹がモザイク状に混じり、東北や信州にも負けない「日本一」のものだと思っています。多くの人にこの風景を見てもらいたくて、平成15年から毎年、庭園の公開を行う「ガーデン・オープン・チャリティ」を実施しています。

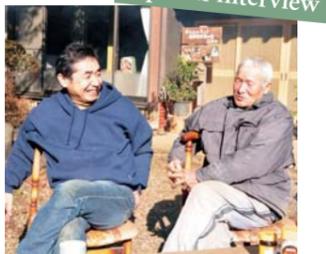
木下さんには、6年ほど前から庭や周辺の里山整備を手伝ってもらっていますが、やはりやっていて楽しいですね。楽しいからこそ続けられる。ですが、2人ではとても手が足りている状態ではありません。楽しいと思って活動に参加してくれる人が増えると、より良い里山の状態を保てるでしょうし、それを見にたくさんの方が訪れてくれて、日本の原風景としてPRできるんじゃないでしょうか。ぜひ、多くの人に里山の素晴らしさを感じてもらいたいですよね。

大シイの木のそびえる平山邸の主人 平山 喜人さん (成田市) 写真左

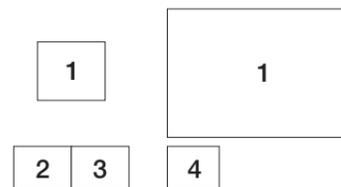
平山さんは市外に住んでいて勤め人でもあるので、私は地元で少しでも力になればと思い、毎週末に平山邸の庭や周りの里山の整備を手伝っています。手間はかかるけど決して苦じゃない、大変だと思ったことはないですね。

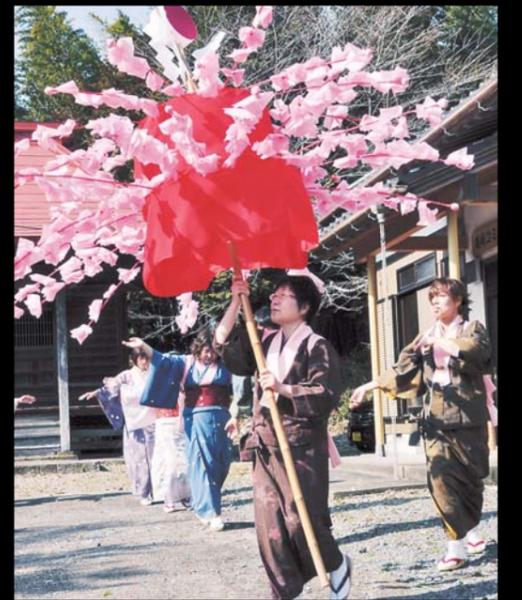
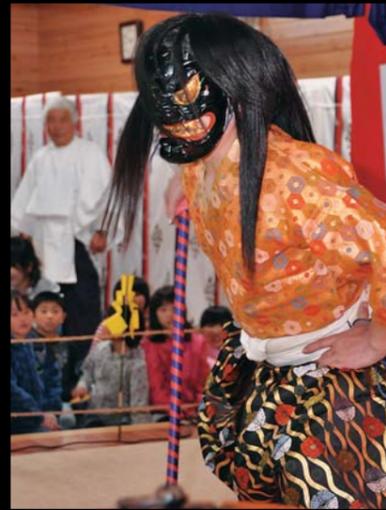
この地域の里山はNHKの「映像に残したい日本の里山100選」に選ばれたほどのものだから、全部をきれいにしたい。ですが、平山さんと2人だけでは限界もあるので、この家の周りだけは市内のどの場所や文化財にも負けないよう、誰よりも精一杯取り組んでいるつもりです。「匝瑳市にはこういうすごいところがあるんだ」と思ってもらいたくて、今よりもこの先より良くするためにはどうすればいいか知恵を絞って、真心こめて頑張っていますよ。

里山の管理人 木下 芳一さん (安久山) 写真右



Special interview





八重垣神社祇園祭

毎年8月4日と5日に行われる八重垣神社祇園祭は、元禄10(1697)年に始まったとされています。八重垣神社の神輿(みこし)を中心に、10町内から20基以上の神輿が繰り出し、「あんりゃあどした!」という威勢のいい独特の掛け声で練り歩く姿はまさに圧巻。神輿の行列に冷水を浴びせかけるのも大きな特徴で、見応えがあります。

The Yaegaki Shinto Shrine's Gion Festival started in the year 1697 during the Genroku era. It takes place every year on August 4th and 5th. There are more than 20 portable shrines called *mikoshi* that are carried around the town. Each of the 10 So-sa city neighborhoods have their own *mikoshi*. People carry the *mikoshi* around town all day shouting "anrya-doshita!" while people douse them with water to keep them cool in the summer heat. It is an exciting scene and event, not to be missed.

艶やかな女神輿

伝統行事

- 1. 駒まね** 家から青竹を持ち寄り、八重垣神社境内にしめ縄を張って作った祭場でそれを燃やすことで、無病息災や交通安全などを祈願します。
- 2. 松山神社神楽** 松山神社神楽保存会によって毎年奉納される神楽で、「下総十二神楽」と呼ばれています。
- 3. 小高の裸参り** 妙長寺の門前に集まった下帯一本の若者たちが頭から冷水をかぶる、真冬の水垢離(みずごり)行事。奇祭として有名で、遠方からも見物客が訪れます。
- 4. 六社神社御神幸祭** 囃子(はやし)連とともに神輿(みこし)が野手地区を威勢よく渡御。海で神輿を揉む「お浜下り」は見応えがあります。
- 5. 亀崎の如意輪まいり** あでやかな着用に身を包んだ女性たちが、大きな万燈を列の先頭でかざしながら子安神社で踊りを奉納し、安産祈願をします。

	2	3
1	1	3
4		5



1	3
2	4
	5

伝統行事

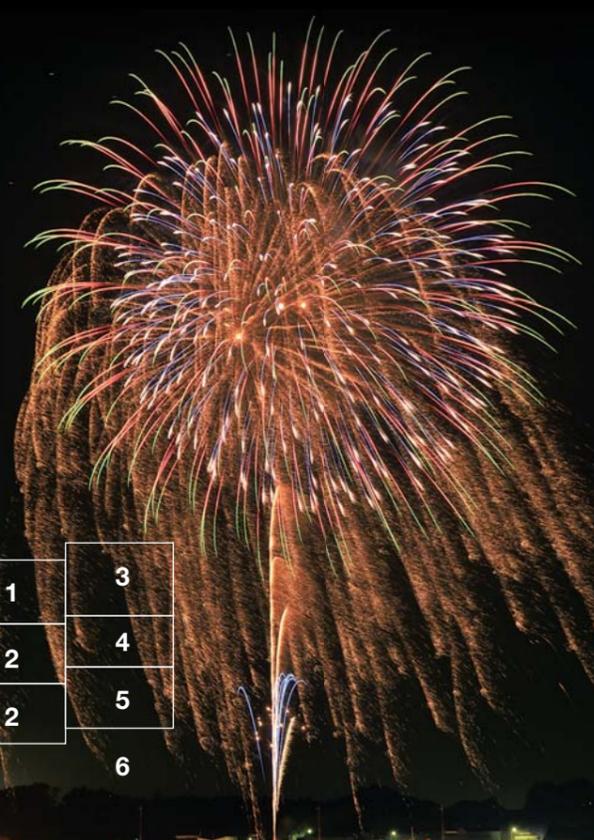
- 仁組獅子舞** 大人2人で操る獅子が、栢田地区・仁組集落内の各戸を回って悪疫払いをすることで、五穀豊穡(ほうじょう)・無病息災を祈願します。
- 片子の盆綱** 各家庭から持ち寄ったワラで、長さ20m、太さ20cm以上にもなる巨大な盆綱を編み、妙印寺境内の2本の大樹に両端を縛り付けます。
- 東谷の祇園祭** 東谷地区・八坂神社の祇園祭で、“ケンカ神輿”の異名を持ちます。神輿(みこし)を先頭に道中激しいもみ合いが行われ、時には地面に押し倒す場面もあります。
- ひげなで三杯** 今泉地区・稻生神社の氏子同士が、東西に分かれて酒を競って飲みます。ひげをなでる仕草が次の酒を要求する合図となり、それらを飲み干すことで五穀豊穡、家内安全を祈願します。
- 時曾根の大蛇まつり** 地区の若者たちが持ち寄ったワラで、長さ3m、太さ30cmほどの大蛇を3匹編み上げます。大蛇は時曾根集落の三方の入り口の木にかけられ、悪疫退散などを祈願します。



行事・市民まつり

- そうさチューリップ祭り** 毎年春、のさか花の広場では市の花チューリップ7万本が咲きそるいます。カラフルに彩られた会場は、多くの家族連れなどでにぎわいます。
- よかっぺ祭り** 小学生によるたるみこしパレードや踊りなどで、毎年にごわいを見せる市民祭りです。「よかっぺ」とは当地方の方言で「良いだろう、良いことだ」を意味します。
- 市場まつり** 旧市名「八日市場」の由来である「市」にちなみ、本町通り商店街を中心に伝統行事「駒まね」と同時に開催されています。
- のさかふれあい祭り** のさか太鼓の演奏や子ども民謡などで盛り上がりを見せる市民祭りです。
- そうさ農業まつり** 「見て、触れて、味わって体験できる!」農業者と市民の交流祭典。農特産物を豊富に取りそろえ、展示即売のほか、くじ付きもち投げなど、イベントも盛りだくさんです。
- 大浦花火大会** 打ち上げ数は100発前後ですが、収穫間近の水田に囲まれて見る花火は風情があります。

1	3
2	4
2	5
	6





天正8(1580)年に開かれた日蓮宗最古、最大、最高の学問所であった飯高檀林跡(飯高寺)。
講堂・総門・鐘楼・鼓楼は国指定重要文化財に、巨大な杉がうっそうとした境内全域は千葉県史跡に指定されています。凛としたたたずまいは歴史を感じさせ、訪れるものを温かく迎え入れます。

匝瑳市域に人が住み始めたのは旧石器時代のこと。やがて土器が使われるようになり、定住が始まります。当時使用されていた丸木舟が多数出土しているほか、多くの貝塚が残っています。奈良時代に入ると国郡制により下総国が成立し、匝瑳郡が置かれます。その範囲は現在の旭市、多古町の一部にもかかる広大なもので、下総国11郡の中でも最大でした。中世の匝瑳市域では、武士団同士の土地を巡る争いが続き、八日市場周辺には武士団による集落が形成されます。同時期に、市域北部で法華宗(日蓮宗)が広まり、農民による「講」が結成されたのもこの時期です。江戸幕府が開かれ戦乱の世が終わると、人々はより多くの米を作るため、この地方に広がっていた広大な「樅の海」の干拓に着手。これが現在「干潟八万石」と呼ばれる水田地帯です。匝瑳市域は、後に木綿で広く知られるようになり、周辺の産物を江戸へと送る集積地として発展します。明治維新を経て千葉県が誕生。そして、匝瑳市の前身・八日市場市と野栄町がそれぞれ昭和の大合併で誕生します。総武本線の開通で商業都市へと発展する一方で、農林水産業のまちとして地盤固めがなされ、今日に至ります。

Buddhist school IIDAKA DANRIN
The oldest, biggest and highest school for priests of the Nichiren sect of Buddhism was opened in 1580. The auditorium, main gate, belfry and drum tower have been designated as important cultural properties by the country. The whole of the premises which are surrounded by ancient Japanese cedar trees is designated as an historic site of Chiba Prefecture. The dignified building gives the visitor the historic story behind yet with a warm and welcoming feel.



新緑祭



檀林跡周辺散策

飯高檀林跡周辺には、本殿を囲う二十四孝の彫刻が見事な「飯高神社」や5月にはフジが咲き誇る「妙福寺」、スダジイを中心に自然林が形成されている「天神の森」などがあり、散策が楽しめます。この辺りは「妙福寺・飯高神社の森郷土環境保全地域」として県に指定されています。

- 1. 妙福寺
- 2. 飯高神社
- 3. 天神の森

1	
2	3



檀林跡を活用した催しは、春と秋にそれぞれ行われる「新緑祭」と「コンサート」が有名で、遠方からも多くの人が訪れてくれます。杉木立の間を通り抜けて威風堂々とした講堂を目の当たりにすると、自然と心が洗われたような気持ちになります。匝瑳市のパワースポットとして重要文化財を活用した「地域おこし」につなげられれば良いですね。

私たちの役割として、先人が残してきた檀林跡の景観を維持して、後世に守り伝えていかなければならないなと思います。

Special interview

「地域の宝」を 後世に守り伝える



「史跡飯高檀林跡を守る会」会長 熊切 達雄さん(金原)



長徳寺の仏画 長徳寺に所蔵されている絹本着色(けんぼんちゃくしよく)の仏画「愛染明王像(あいぜんみょうおうぞう)」と「普賢延命像(ふげんえんめいぞう)」の2幅は、国の重要文化財に指定されています。



丸木舟 縄文時代の重要な交通・運搬手段であった丸木舟。市内でも多数の舟が発見されており、県指定有形文化財のものも含めて保存されています。

松山庭園美術館 芸術家・此木三紅大(このきみくお)氏のアトリエを公開したものです。コケとモミジの純和風の庭園と、芝生にマツを配した洋風の庭園には、石の彫刻や鉄の彫刻(ガンダ彫刻)が置かれ、来館者の憩いの空間となっています。



木造釈迦涅槃像 下出羽区に所蔵されているヒノキ材でできた寄木造りのこの像は、数少ない彫刻涅槃釈迦像(ねはんしゃかぞう)として、県の有形文化財に指定されています。



聖画 日本における女流作家の先駆者であり、最初のイコン(聖画)制作者・山下りん氏が書いたイコン10面(県指定有形文化財)。明治24年に鶴沢修神父によって開かれたロシア正教の教会、ハリストス須賀正教会に所蔵されています。

3つの国登録有形文化財(建造物)

1. 坂本総本店店舗 2. 鶴泉堂菓子店店舗兼主屋他 3. 新井時計店



国指定重要無形民俗文化財 木積の藤箕製作技術

木積地区ではその生産が江戸時代中期に始まったとされます。丁寧な作りで軽く、弾力に富んでいることが評価され、最盛期の大正時代末期には地区全体で製造戸数130戸、従事者は430人、年間13万枚弱を生産したとされています。

現在は農業の機械化、安価なプラスチック製品の普及によって極めて少ないですが、「木積箕づくり保存会」が伝統を継承するため製作を続けています。

藤箕製作の伝統的な製作技術を伝え、我が国の箕製作技術の変遷を理解する上で重要な技術として、平成21年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。



5月のふじ祭での実演

The winnowing basket of Kizumi area has been around since the middle of Edo period. Light yet strong, winnowing baskets have proved to be popular in those times and at the end of Taisho period, 130 manufacturers were producing 130,000 pieces annually by 430 craftsmen. Although modern technology has replaced its position nowadays, the kizumi winnowing basket preservation society is still conserving the tradition. It has been designated as a significant intangible folk cultural asset in 2009 for conveying the traditional fabrication techniques and importance in understanding the evolution in Japanese fabrication.

Special interview



藤箕製作技術の伝承者
秋葉 千枝子さん(南神崎)

「ずっとやってきたもの」
後世に伝えたい

この辺りの地域では、昔は各家で箕を作るのが当たり前でした。私は、7、8歳の頃から、小遣い稼ぎで親の手伝いをしていたので、見よう見まね、自然と作り方を覚えましたね。母親は他の地域から嫁に来て、右も左も分からない中で箕作りを覚えなければならなかったのが大変だったと思います。箕作りは生活の一部というより「生活そのもの」。当時は各家が数を競い合うように作っていました。多い家では年間500枚近く作っていたんじゃないですかね。私は家で子育てをしながら箕を作っていましたよ。

今は売り物として作ることはなくなりました。箕作りの技術を伝える毎月1回の伝承教室で作るだけです。技術を覚えたいという生徒さんがいてくれて、教える方も一所懸命になります。これまでずっとやってきたものなので、後を継いでくれる人がいればいいなと思って協力しています。これからでもできる限り箕を作り続けたいですね。



気持ちをでっかく、リフレッシュ 匠瑛の海



吉崎浜野外活動施設



日の出



ハマヒルガオ



海釣り



アカウミガメ

九十九里浜 九十九里浜は全長 66km に及ぶ、日本で2番目に長い砂浜です。そのうちの8 km が匠瑛市にあたり、初夏になるとハマヒルガオの群生やアカウミガメの産卵を見ることができます。

サーフィン 市内の海岸一帯で一年を通して楽しめるサーフィン。特に吉崎浜では大きな大会も開催され、多くのサーファーたちが集まります。

海釣り 市内では特に野手浜が海釣りのスポットになっています。太平洋を独り占めした気分で、一日のんびりと遊ぶことができます。

日の出 太平洋をオレンジ色に染める初日の出。毎年1月1日は、県内外からたくさんの方が訪れます。

定番みやげ



そうざまん

「匠瑛」を全国に発信するキャンペーンの一環として、市内6軒の菓子店によるオリジナル饅頭、「そうざまん」が開発されました。



赤ピーマン 3本セット

完熟赤ピーマンをふんだんに使った「ドレッシング」「たれ」「ソース」。赤ピーマンの甘みが生きて、さまざまな料理にピッタリです。



落花煎餅

大正時代に作られた、落花生を練り込んだ独特の味が癖になるお菓子。パリッと香ばしい食感も魅力です。



初夢漬け

秋ナスを秘伝の砂糖汁で煮込み、雪のように砂糖をまぶした220年余りの伝統を誇る銘菓です。

大浦ごぼう

周囲約30cm、長さ1mにもなる特大ごぼうは、日本一の大さを誇ります。毎年成田山新勝寺に奉納され、精進料理に使われています。



ネギ

実が縮まって甘みがあるおいしいネギです。その品質の良さは市場でも高く評価されています。



米

本市は県内屈指の米どころ。ふれあいパーク八日市場では毎年「新米まつり」が開催され、おいしい匠瑛産米のPRを行っています。



赤ピーマン

本市は県内唯一の赤ピーマンの産地。普通のピーマンに比べて甘みがあるので、ピーマンが苦手な人にもそのおいしさを味わっていただけます。



イチゴ

本市はイチゴ栽培の歴史も長く、市内の直売所では香り豊かでジューシーなイチゴに出会えます。



トマト

一年を通して出荷するため、季節に合わせた最適なタイミングで収穫できるよう、さまざまな工夫がなされ、高品質を維持しています。



ほうレンソウ

夏場を除いてほぼ通年で栽培されています。葉はしっかりと厚みがあり、味も濃厚です。



本市の工業は、平成25年12月現在で84の事業所を数え、出荷額は約472億円となっています。業種は食料品、プラスチック製品、金属製品が多くを占めます。特にみどり平工業団地では27社が操業し、約900人が就業しています。市では、成田空港に近い優位性と、銚子連絡道路の整備進展による利便性の向上などを生かして、地元雇用者の多い優良企業の誘致を進めています。

そうさ若潮牛

肉質の良い黒毛和牛と発育の良い乳用牛をかけ合わせて誕生した銘柄です。柔らかい肉質はステーキや焼き焼きにぴったりです。



ハマグリ

九十九里の夏と言えば海の家で食べる「焼きハマ」。本市の海岸線では新鮮なハマグリが手に入ります。



アジ

昔から親しまれてきたふるさとの味。新鮮なアジを骨までたたいた本物の「たたき」は絶品です。



匠瑛の産業

匠瑛の地から生み出される自慢の逸品

里山から広大な田んぼ、九十九里沿岸までを有する匠瑛市では、農業を基幹産業として商工業も発達。豊かな自然環境に恵まれ、県内屈指の米どころとしても有名で、肥沃な土壌からは多種多様な野菜類が作られています。また、「八日市場」の地名の由来となった「市」から発展した中心市街では、古くからの商店が軒を連ねます。さらに、首都圏や成田空港に近い立地条件から、みどり平工業団地を中心に工業が進展しています。

Special interview



千葉県農業士協会 会長

SOLFARM 佐藤農園
佐藤 真吾 さん (相田)

有機農業に取り組み

若きリーダー

米を中心に、ネギやピーマンなどを生産しています。有機農業に取り組んでいて、工夫を重ねて極力農薬を使わない野菜作りを目指しています。農場名の「SOLFARM(ソルファーム)」は、スペイン語で「太陽」を意味する「SOL」からで、「太陽の恵みを生かして野菜を育てる」ことをイメージして付けたものなんです。

もともと専門学校を卒業後に一般企業に就職していましたが、「生きていくことに直結する仕事を」と思い1年で退社。農業に明るく取り組んでいた両親の姿を幼いころから見ていたこともあって就農を決めました。

農業には「つらい、汚れる」などのイメージが少なからずありますが、それらが払しょくされて、もっと若い就農者が増えて、幸せに生きていけるような環境が作れたらいいですね。これからは、規模拡大の中で日本人スタッフを雇用して人を育てなければいけませんし、地元の営農組合では理事としても関わらせてもらっているのですが、それぞれが繋がりを持って農業に取り組んでいけたらいいなと思います。





目印は青い看板

東関東自動車道成田I.Cからは、国道296号を匝瑳市方面へ向かい、「東総広域農道」を左折し約7km(約30分)。千葉東金道路横芝光I.Cからは、国道126号を匝瑳市方面へ向かい、「県道八日市場・山田線」へ入り約4km(約30分)。和風造りの建物に青い看板が目印です。



安心・安全・新鮮な農産物 こだわりの匝瑳市産

地場産業の振興と地域の活性化、都市と農村の交流を目的に、平成14年3月にオープンした農村総合交流拠点施設です。「週末は何かがある!」をキャッチフレーズに、毎週末や祝祭日にさまざまなイベントを開催しています。

Our city offers a diverse and exciting range of fresh produce for everyone's table. Through our regional facility, which was opened in 2002 we are able to attract tourists and shoppers from other regions of Japan. "Something is going on the weekend and national holiday." is a catch phrase we use to organize many events.



1. **わいわいワクワク交流会** 毎年開催している生産者と消費者の交流事業。生産現場を直接見学した後は、地元産品を使った「母ちゃん料理」でもてなします。
2. **農特産物コーナー** 旬の野菜、味噌やもちなどの手作り加工食品をはじめ、落花煎餅などの特産品、手工芸品が所狭しと並びます。地元産コシヒカリなど、お米の量り売りもしています。
3. **販売コーナーの卵焼き** 甘めにふっくらと、一つ一つ心を込めて焼き上げています。
4. **新米まつり** 本市産の新米の販売や、炊きたて新米の試食会です。
5. **花・植木見本園** 四季折々の花木が並ぶ見本園。温室の中には花苗や鉢物が、温室を抜けると大小さまざまな植木が展示・販売されています。
6. **里山ハイキング** ふれあいパークの恒例イベント。ふれあいパークを拠点として周辺の里山を巡ります。
7. **郷土料理レストラン「里の香」** 地元の主婦たちが腕をふるう和風レストラン。旬の地元産素材を取り入れたメニューを取りそろえています。
8. **一番人気の「生姜焼き定食」** 柔らかく甘みのある「いも豚」を使用し、肉厚・ジューシー。

1	2	3
4	5	6
8	7	



先進の医療をめざして



国保匝瑳市民病院

国保匝瑳市民病院は、昭和33年の開設以来、地域の中核医療機関として地元医師会や行政との緊密な連携のもと、治療活動、予防医療に取り組んでいます。

今日、地域の医療ニーズは、疾病の複雑化や多様化に伴い、より高度で専門的かつ総合的な技術・設備が求められています。市民病院では、こうした要求に応えるべく、医療設備の更新や専門医師の確保のほか、「出ていく医療」をスローガンにした在宅ケアを進めており、平成24年には、「在宅療養支援病院」の認定を受け、地域完結型の包括ケアを目指しています。



匝瑳市民病院事業管理者 菊地 紀夫



Aiming for advanced Medical care



Sosa Municipal Hospital has been tackling medical treatment and preventive medicine with the support of the regional doctor's group and the government since 1958.

To this day, our citizen's medical issues are varied and different in many ways. High standard treatment and professional investigations are always required. Meeting these requirement, we are trying to renew the medical appliances and are employing the proper specialist. From 2012 our hospital was designated as the "home health care hospital" which means the patient stays at their own home and can receive visits from the doctors and nurses 24hours a day in needed situations.



併設施設としては、平成16年に開設した介護老人保健施設「そうさぬくもりの郷」で、医学的な管理のもと、入所者の能力に応じた自立を目指しています。

平成22年には院内保育所「コアラハウス」をオープン。職員の勤務状況に応じて子どもを受け入れているほか、患者さんやお見舞いに来た方の「お子さんの一時預かりサービス」も行っています。



お子様預りサービス

病院基本理念

- 患者さん、ご家族と職員が一体となった質の高いチーム医療を目指します。
- 常に自己研鑽に努め、適正な医療を提供します。
- 他の医療機関との密接な連携のもとに、皆さんが安心できる地域医療に努めます。

診療科 内科 外科 整形外科 眼科
耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科
リハビリテーション科

専門外来 認知症外来 糖尿病外来
女性専門外来 禁煙外来

併設施設 介護老人保健施設「そうさぬくもりの郷」
訪問看護ステーション「つばさの里」
居宅介護支援事業所「つばさ」



デイケア



敬老会



そうさぬくもりの郷
医学的な管理の下で、自宅では困難な機能訓練や看護・介護などを行うことにより、入所されている人の能力に応じた自立を目指すための施設です。明るく家庭的な看護・介護を、利用者ご家族・職員が一体となって進めます。短期入所(ショートステイ)や通所リハビリテーションを利用することができます。

匠瑛市の施設



1. **そうさ記念公園** 平成 27 年度に新たに整備した公園です。およそ 3 万 4 千㎡の面積を有し、自動車約 200 台を収容可能な駐車場を挟んで、東西に芝生の広場が広がります。憩いやレクリエーション、災害時の活動拠点などとして幅広く利用できます。
2. **野栄ふれあい公園** みはらしの丘や多目的広場のほか、子ども用の遊具も充実しています。周囲を 1 周約 700m のウォーキングロードで結びます。
3. **天神山公園** 誰もが楽しめる市民の憩いの場として、多様なオープンスペースを整備し、散策路などで結んでいます。春には公園内の桜が満開になり、花見客でにぎわいます。
4. **八日市場図書館・のさか図書館** 市内にある二つの図書館には、合わせて約 28 万冊の蔵書があります。子どもからお年寄りまでたくさんの人が利用しています。
5. **八日市場公民館** 市民生活に密着した文化・学習・集いの場です。誰もが楽しく参加できる講座が多数開催されているほか、趣味やサークル活動の発表の場などとして利用されています。
6. **市民ふれあいセンター** ふれあいと連帯に支えられた地域づくりの場として、文化や教養、コミュニティー活動などに利用されています。
7. **八日市場ドーム** スポーツや文化活動を楽しんでいただくための施設です。メインとサブの二つのアリーナと、ジョギングコースが設置されています。
8. **のさかアリーナ** 多目的広場も隣接し、屋内・屋外のスポーツやイベントに利用されています。
9. **山桑公園野球場** 放送設備が整った本部席のほか、本格的な照明も完備されているのでナイター利用も可能です。
10. **野手浜総合グラウンド** サッカーコートで 3 面、ラグビーコートでは 2 面の広さがあり、多目的に使用できます。

1	4	4
2	5	6
3	7	8
	9	10

匠瑛市の施設



八日市場図書館



のさか図書館



八日市場公民館



市民ふれあいセンター



八日市場ドーム



のさかアリーナ



山桑公園野球場



野手浜総合グラウンド

匝瑳歳時記 ～季節の行事～



- 4月 葦茅神社祭礼
- 4月 そうさチューリップ祭り
- 4月 飯高檀林新緑祭
- 5月 おせん様のふじ祭
- 5月 植木まつり
- 5月 東照宮例大祭

春



夏

- 7月 東谷祇園祭
- 7月 駒まね
- 7月 市場まつり
- 7月 のさかふれあい祭り
- 8月 八重垣神社祇園祭
- 8月 片子の盆綱
- 8月 大浦の花火大会
- 8月 八日市場の盆踊り定例発表会



- 10月 飯高檀林コンサート
- 10月 六社神社御神幸祭
- 10月 十二所神社御神幸祭
- 10月 松山神社秋の大祭
- 10月 水神社祭礼
- 10月 よかっぺ祭り
- 11月 そうさ農業まつり

秋



冬

- 1月 稲荷神社綱かけ神事
- 1月 栢田仁組獅子舞
- 1月 小高裸参り
- 1月 筒粥神事
- 1月 稲生神社ひげなで三杯
- 2月 時曾根大蛇まつり
- 2月 東郷神楽
- 2月 亀崎如意輪まいり



匝瑳市資料編

位置・気象

匝瑳市の位置

千葉県の北東部に位置し、東京から70km圏内、千葉市から約40km、成田空港からは約20kmの距離にあります。北は香取市と香取郡多古町、東は旭市、西は山武郡横芝光町に接しています。東西が約12.5km、南北が約15kmで、総面積は101.52km²です。

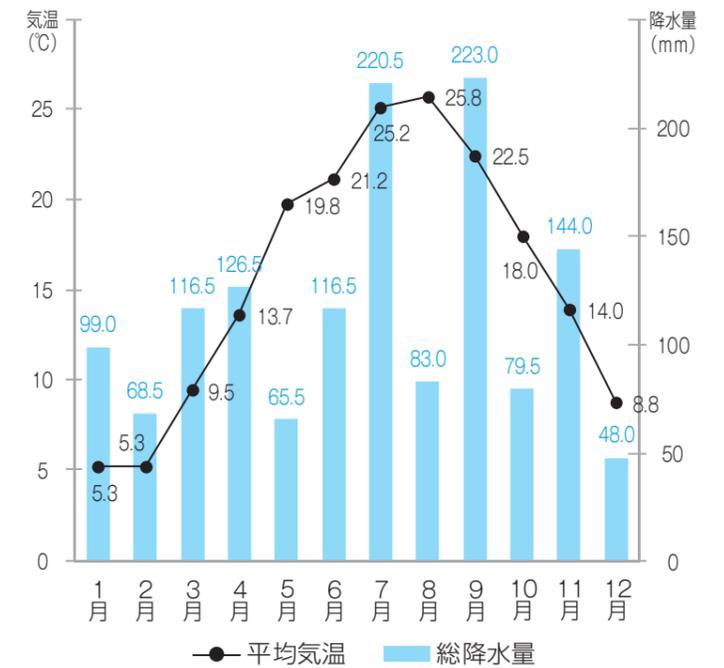


市役所の位置

本庁
東経 140° 34' 03"
北緯 35° 42' 17"

総合支所
東経 140° 34' 21"
北緯 35° 39' 27"

平成27年気象【資料：気象庁】

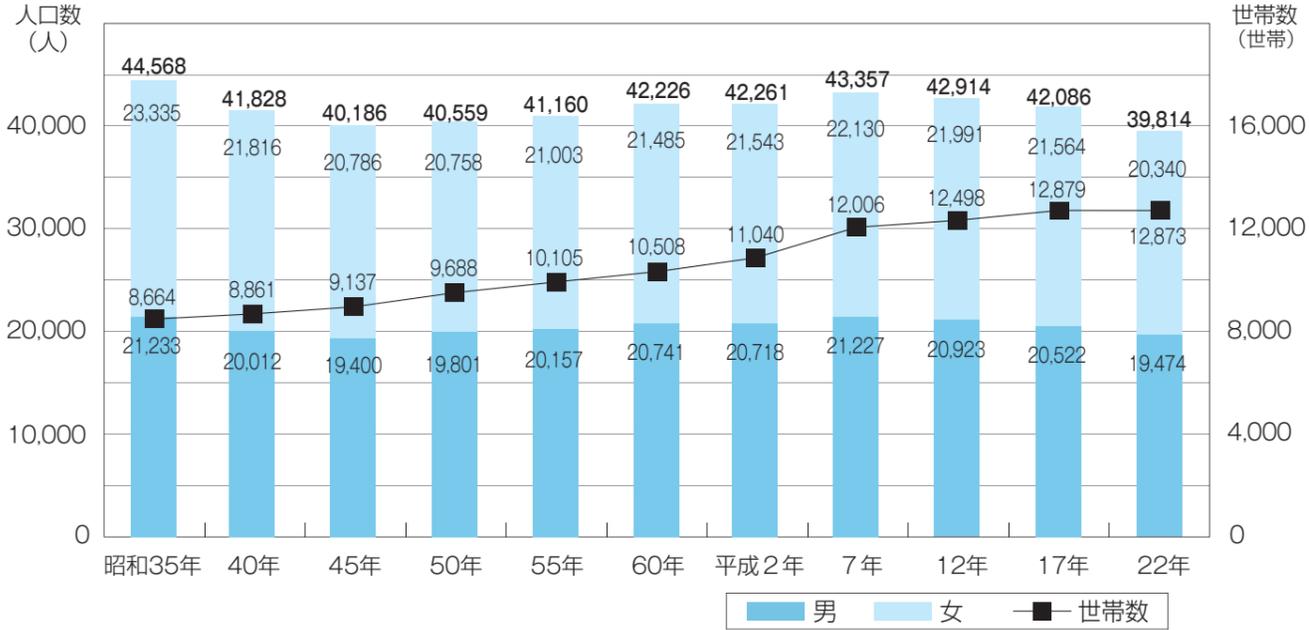


くらしのデータ

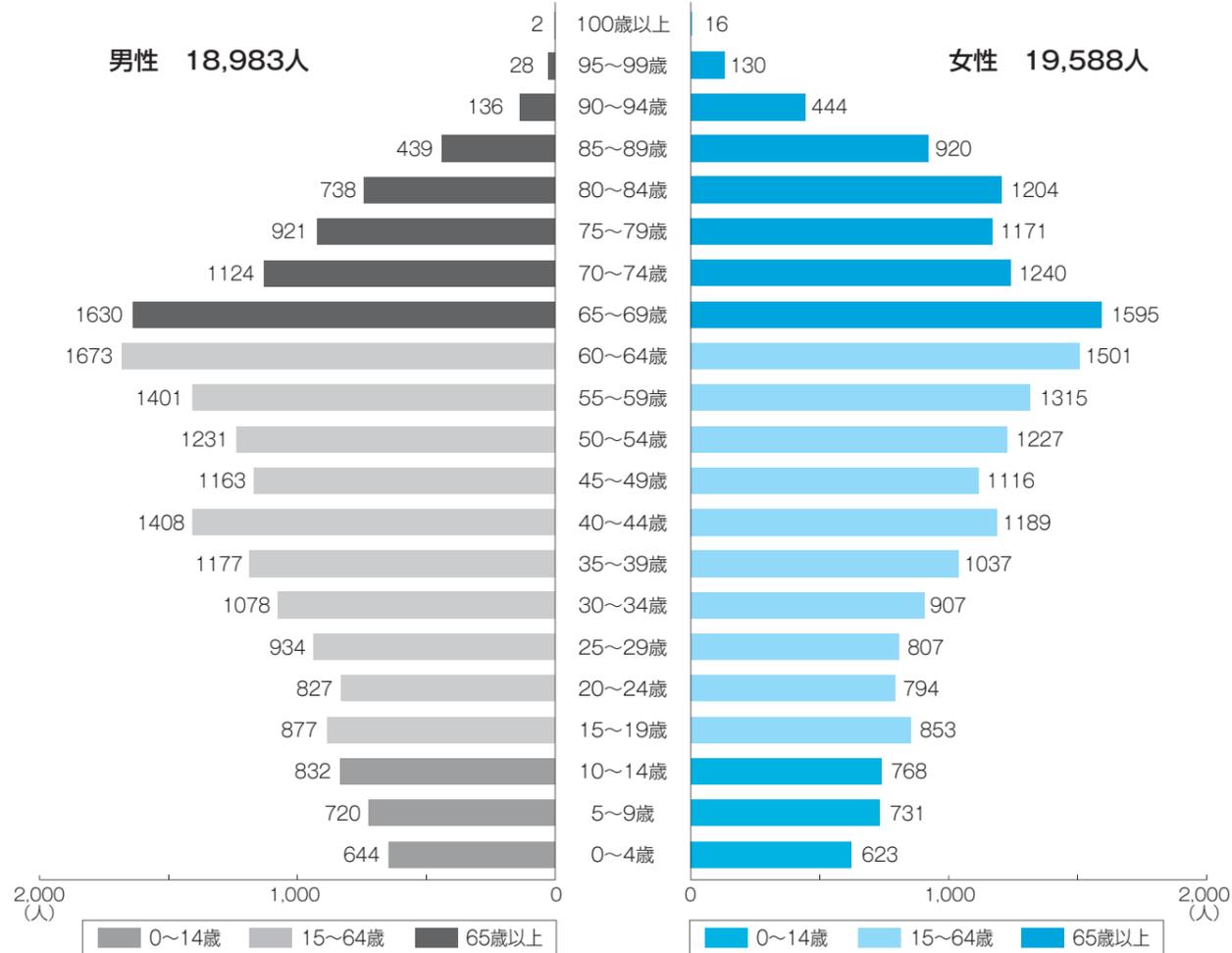
誕生 <p>1日あたり 0.65人 (平成27年)</p>	死亡 <p>1日あたり 1.48人 (平成27年)</p>	転入 <p>1日あたり 2.27人 (平成27年)</p>	転出 <p>1日あたり 2.97人 (平成27年)</p>
世帯人口 <p>1世帯あたり 2.67人 (平成27年4月1日現在)</p>	水道の使用量 <p>1世帯1日あたり 698.30リットル (平成26年度)</p>	ごみの排出 <p>1世帯1日あたり 2.67kg (平成26年度)</p>	図書館蔵書貸出数 <p>市民一人あたり 年間 8.42冊 (平成26年度)</p>
交通事故 <p>1日あたり 2.87件 (平成27年)</p>	救急出動 <p>1日あたり 4.59件 (平成27年)</p>	火災発生 <p>1日あたり 0.05件 (平成27年)</p>	市職員 <p>市民 129.43人に1人 (平成27年4月1日現在)</p>

人口

■ 人口・世帯数の推移 【資料：国勢調査】

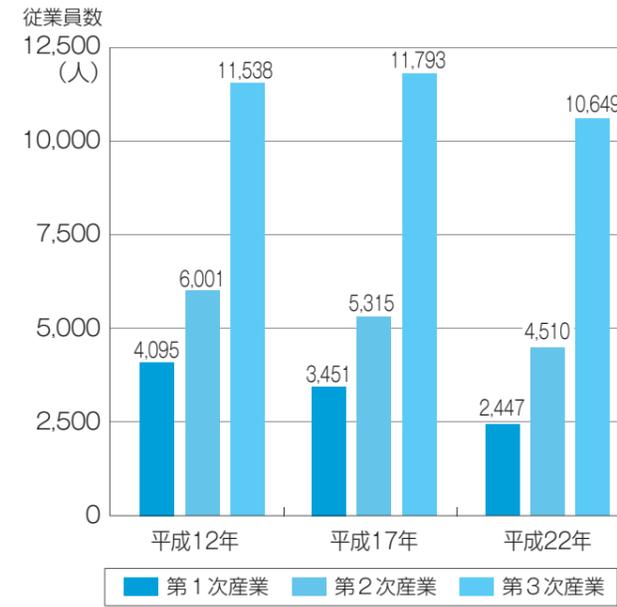


■ 年齢別人口 平成27年3月31日 【資料：住民基本台帳】

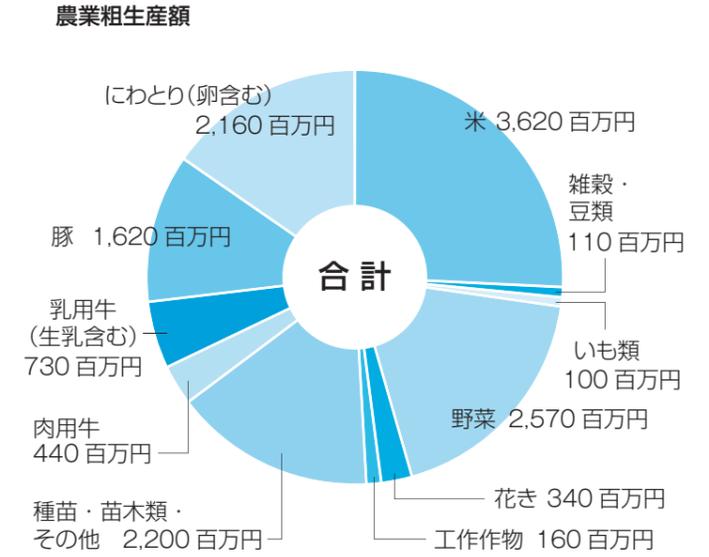


産業

■ 産業別就業者数 【資料：国勢調査】



■ 農業の状況(平成18年) 【資料：千葉県生産農業所得統計】



■ 工業の状況 【資料：工業統計調査・経済センサス(平成23年)】

年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
事業所数	89事業所	88事業所	80事業所	86事業所	84事業所
従業者数	2,366人	2,370人	1,925人	2,263人	2,134人
製造品出荷額等	4,933,176万円	5,184,209万円	4,596,404万円	5,150,726万円	4,718,573万円

■ 商業の状況(平成26年) 【資料：商業統計調査】

分類	事業所数	従業者数	年間商品販売額
卸売業	80事業所	471人	30,583百万円
小売業	329事業所	1,828人	36,536百万円

■ ふれあいパーク八日市場利用状況 【資料：ふれあいパーク八日市場】

年度	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
開館日数	358日	364日	363日	361日	361日
入場者総数	954,977人	915,734人	875,627人	837,926人	840,307人

生活

■ 上水道の状況 【資料：八匠水道企業団】

年	給水人口	給水戸数	使用水量	普及率
平成23年	33,321人	11,556戸	3,188,092m ³	84.0%
24年	32,933人	11,620戸	3,129,462m ³	83.6%
25年	33,134人	11,738戸	3,131,461m ³	85.6%
26年	32,631人	11,840戸	3,116,686m ³	85.3%
27年	32,420人	11,936戸	3,042,256m ³	85.7%

■ ごみ処理量の状況 【資料：匠瑤市ほか二町環境衛生組合】

年 度	焼却処理	埋立等処理	資源回収
平成22年	9,051 t	1,314 t	984 t
23年	9,123 t	1,340 t	950 t
24年	9,112 t	1,501 t	1,084 t
25年	9,148 t	1,372 t	973 t
26年	8,985 t	1,295 t	918 t

■ し尿処理の状況 【資料：東総衛生組合】

年 度	年間総収集量(浄)	年間総収集量(生)	処理人口
平成22年	7,475kl	2,525kl	6,782人
23年	7,585kl	2,350kl	6,312人
24年	8,004kl	2,291kl	6,154人
25年	7,558kl	2,220kl	5,963人
26年	7,622kl	2,120kl	5,280人

■ 火災の状況 【資料：匠瑤市横芝光町消防組合】

年	総 数	うち建物
平成23年	25件	10件
24年	20件	9件
25年	35件	15件
26年	15件	2件
27年	20件	10件

■ 交通事故の状況 【資料：匠瑤警察署】

年	総 数	うち人身事故
平成23年	1,185件	134件
24年	1,037件	136件
25年	1,136件	163件
26年	1,149件	127件
27年	1,046件	116件

■ 救急出動の状況 【資料：匠瑤市横芝光町消防組合】

年	総 数	うち急病	急病以外
平成23年	1,581件	1,021件	560件
24年	1,637件	1,020件	617件
25年	1,600件	1,013件	587件
26年	1,606件	1,020件	586件
27年	1,675件	1,063件	612件

都市基盤

■ JR八日市場駅の利用状況

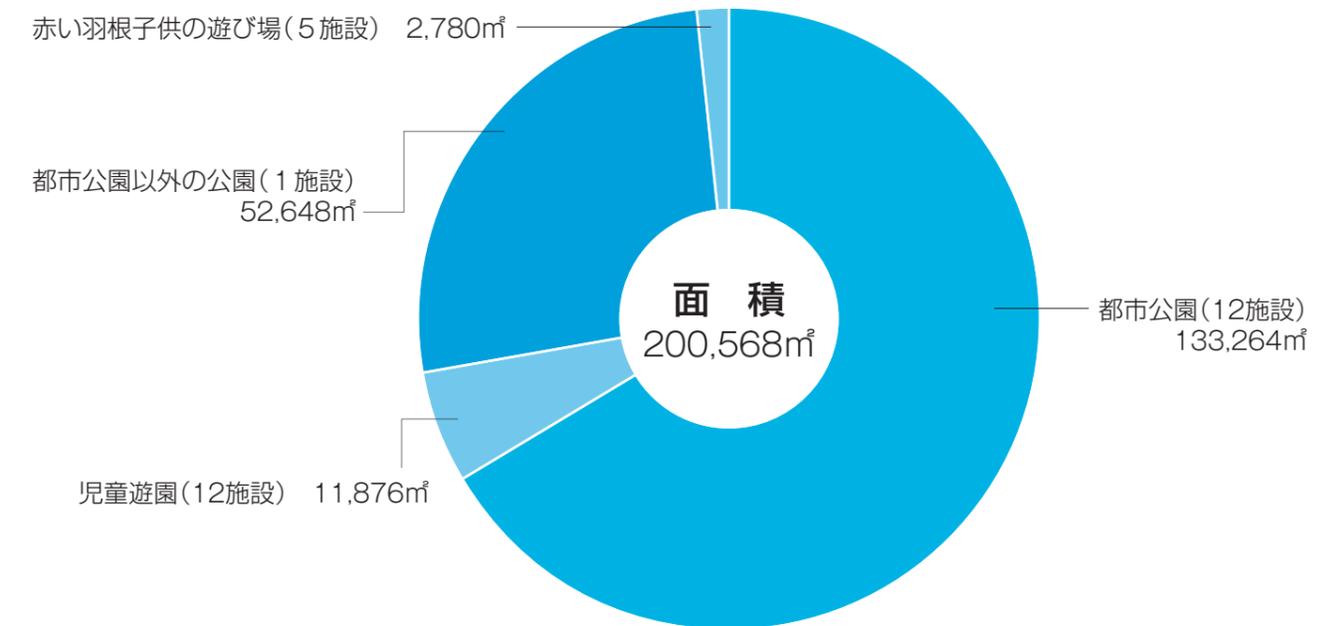
年 度	1日平均乗車人員
平成22年	1,947人
23年	1,952人
24年	1,973人
25年	2,009人
26年	1,976人

【資料：東日本旅客鉄道株式会社】

■ 市内循環バスの利用状況 【資料：環境生活課】

年 度	総 数	1日あたり	1便あたり
平成22年	70,714人	272.0人	7.6人
23年	73,054人	247.6人	6.9人
24年	69,829人	238.3人	6.6人
25年	63,609人	216.4人	6.0人
26年	57,513人	196.3人	5.2人

■ 公園等の状況 【資料：都市整備課・匠瑤市社会福祉協議会】



■ 道路の状況 【資料：海匠土木事務所(平成27年4月1日現在)・建設課(平成27年3月31日現在)】

	路線数	実延長	舗装済延長	改良済延長
国 道	2路線	15,447m	15,447m	15,447m
主要地方道	9路線	42,591m	42,591m	42,184m
一般県道	8路線	33,371m	33,371m	32,290m
1級市道	36路線	58,284m	57,646m	55,688m
2級市道	34路線	50,456m	50,456m	46,402m
その他の市道	2,481路線	851,684m	603,663m	441,324m

保健・福祉

医療施設等の状況(平成26年度)

	施設数	病床数
病院	3施設	366床
一般診療所	30施設	48床
歯科診療所	21施設	—
助産所	1施設	—
薬局	15施設	—

【資料:海匠健康福祉センター事業年報】

健康診査受診者の状況【資料:健康管理課】

年度	平成24年	平成25年	平成26年
特定健診	3,794人	3,786人	3,878人
後期高齢者健診	1,611人	1,609人	1,664人
胃がん検診	1,830人	1,740人	1,845人
大腸がん検診	3,287人	3,521人	3,783人
子宮がん検診	2,540人	2,739人	2,712人
乳がん検診	3,212人	3,367人	3,443人
前立腺がん検診	984人	994人	1,052人
胸部検診	2,777人	2,749人	2,864人
喀痰細胞診	104人	121人	109人
骨粗鬆症検診	665人	652人	674人
成人歯科健診	629人	138人	95人

保育所の状況(平成27年)【資料:福祉課】

	保育所数	職員数	保育児数	3歳未満児	3歳児	4歳以上児	敷地面積	定員
総計	11か所	187人	867人	287人	200人	380人	33,950㎡	900人
市立	4か所	61人	223人	70人	58人	95人	13,529㎡	300人
社会福祉法人立	7か所	126人	644人	217人	142人	285人	20,421㎡	600人

国民健康保険の状況【資料:市民課】

年度	世帯数	被保険者総数	うち一般	保険給付費総額
平成22年	7,703世帯	16,154人	15,428人	3,261,625千円
23年	7,708世帯	15,911人	15,220人	3,348,518千円
24年	7,583世帯	15,439人	14,710人	3,311,916千円
25年	7,474世帯	14,921人	14,230人	3,478,445千円
26年	7,335世帯	14,280人	13,619人	3,446,245千円

国民年金の状況【資料:市民課】

年度	人口(A)	被保険者数総数(B)	加入率(B/A)	受給者数	受給金額
平成22年	40,039人	10,354人	25.9%	11,502人	6,932,942千円
23年	39,590人	9,876人	24.9%	11,704人	7,133,771千円
24年	39,454人	9,505人	24.1%	11,917人	7,334,053千円
25年	38,979人	9,108人	23.4%	12,126人	7,535,261千円
26年	38,571人	8,596人	22.3%	12,319人	7,614,554千円

教育

【資料:教育委員会】

幼稚園(公立・私立)の状況(各年5月1日現在)

年	園数	学級数	園児数	3歳児	4歳児	5歳児
平成23年	3園	10学級	182人	54人	69人	59人
24年	3園	10学級	181人	52人	59人	70人
25年	3園	9学級	146人	34人	52人	60人
26年	3園	9学級	131人	44人	33人	54人
27年	3園	9学級	120人	39人	48人	33人

小学校の状況(各年5月1日現在)

年	学校数	学級数	児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成23年	11校	103学級	1,912人	284人	299人	316人	330人	355人	328人
24年	11校	103学級	1,864人	282人	282人	299人	322人	326人	353人
25年	11校	104学級	1,794人	290人	281人	281人	297人	322人	323人
26年	11校	105学級	1,772人	296人	292人	281人	282人	299人	322人
27年	11校	102学級	1,742人	290人	298人	290人	283人	282人	299人

中学校の状況(各年5月1日現在)

年	学校数	学級数	生徒数	1学年	2学年	3学年
平成23年	3校	40学級	1,068人	338人	349人	381人
24年	3校	37学級	1,008人	322人	339人	347人
25年	3校	39学級	1,009人	349人	322人	338人
26年	3校	36学級	985人	317人	349人	319人
27年	3校	37学級	990人	324人	317人	349人

生涯学習センター利用状況

年度	開館日数	利用人数
平成22年	308日	15,662人
23年	307日	15,641人
24年	307日	14,370人
25年	305日	15,092人
26年	306日	17,421人

八日市場公民館利用状況

年度	開館日数	利用件数	利用人数
平成22年	306日	2,889件	54,826人
23年	307日	2,859件	53,118人
24年	306日	2,933件	55,329人
25年	305日	2,801件	54,649人
26年	306日	2,937件	56,823人

八日市場ドーム利用状況

年度	開館日数	利用件数	利用人数
平成22年	293日	1,993件	59,829人
23年	294日	1,770件	64,961人
24年	284日	1,808件	61,702人
25年	292日	1,785件	56,638人
26年	223日	1,635件	49,298人

図書館利用状況

年度	開館日数	貸出人数	貸出図書冊数	登録者総数
平成22年	283日	62,430人	345,810冊	24,944人
23年	287日	60,755人	348,259冊	25,327人
24年	283日	58,693人	339,945冊	24,319人
25年	276日	56,188人	324,492冊	27,002人
26年	284日※	60,479人	324,625冊	25,415人

※のさか図書館は283日

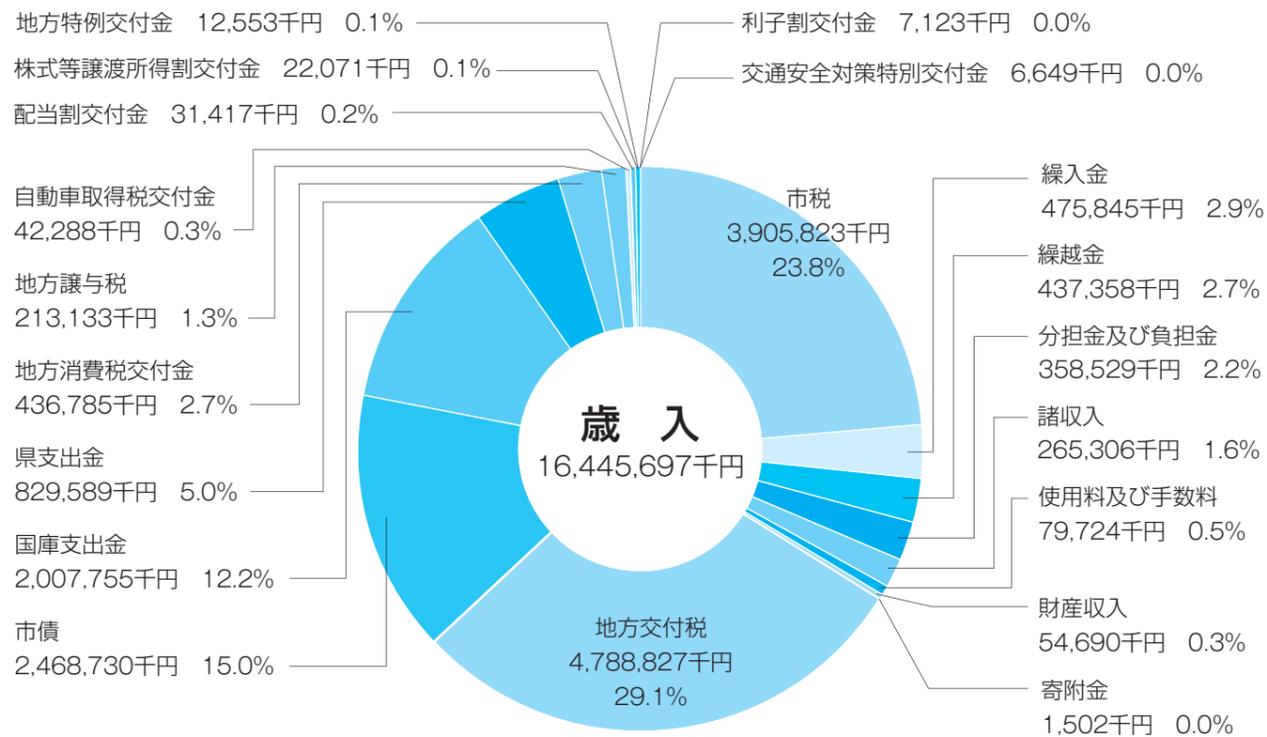
のさかアリーナ利用状況

年度	利用件数	利用人数
平成22年	1,254件	36,001人
23年	1,193件	37,707人
24年	3,480件	46,618人
25年	3,583件	45,334人
26年	3,721件	47,328人

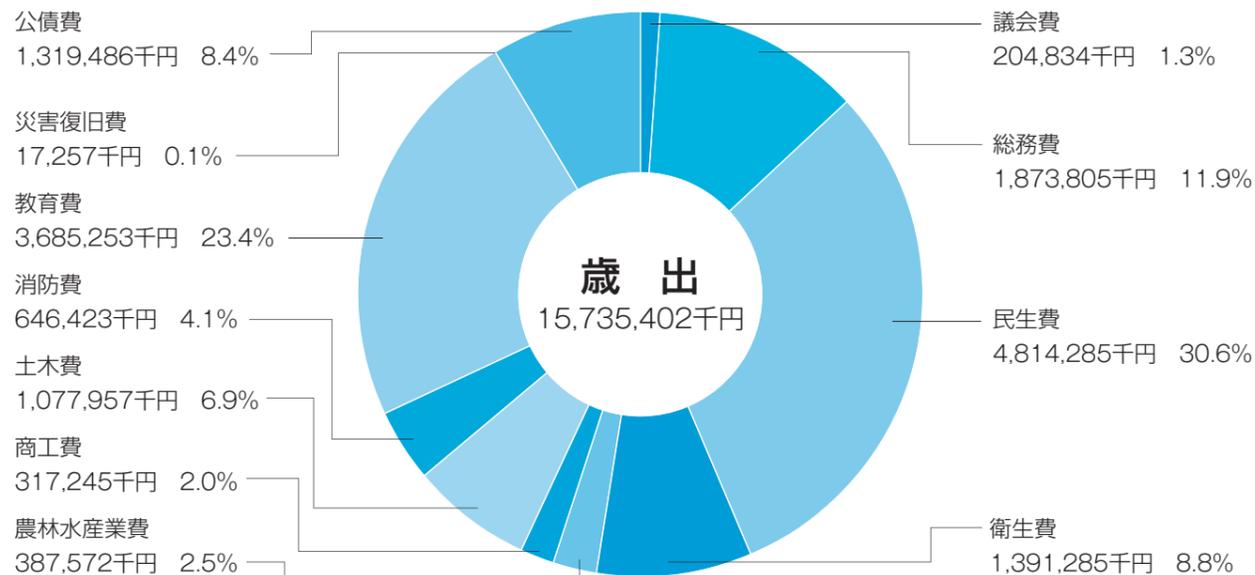
財政

一般会計決算(平成26年度)

歳入決算額



歳出決算額



特別会計決算(平成26年度)

区分	歳入	歳出	区分	収益	費用
国民健康保険特別会計	6,070,445千円	5,798,748千円	病院事業会計	2,511,308千円	2,753,298千円
後期高齢者医療特別会計	360,201千円	357,244千円			
介護保険特別会計	3,064,567千円	2,978,255千円			

匠瑛 MAP

散歩のまち匠瑛を歩こう

旧道沿いに黒しっくい塗りの土蔵造りが見られ、歴史を感じさせるまち並みが続く。歴史ある神社や自然豊かな公園、老舗の銘菓を味わうなど、楽しみがあふれるまちをぶらりと巡ろう。

